

# 輪島市災害たすけあいセンター運営支援業務報告

## 輪島市社会福祉協議会の輪島市災害たすけあいセンター運営支援の現況

令和6年1月1日(月)に発生した能登半島地震で被災した輪島市では、9月20日(金)からの能登半島豪雨による市内の広範囲の水害によって被災者からの支援ニーズが増加しました。水害に関しては短期間での被災者支援が求められているため、東海北陸ブロックによる職員派遣に加え、中国、近畿ブロックからも追加派遣を要請している状況です。

また、ブロック別の職員派遣に加えて社協職員による単発的なセンターのコーディネート業務の必要性の訴えがあったため、輪島市社協のセンター運営支援を行い、被災された輪島市社協の職員負担の軽減を図るために本会職員を派遣しました。



## 実際の活動

10月13日(日)から15日(火)に輪島市災害たすけあいセンター(災害ボランティアセンター)の運営支援のために、伊勢市社会福祉協議会から6名の職員を応援派遣しました。

### 【活動内容】

- ・輪島市災害たすけあいセンターの設営・撤収
- ・ボランティアへの活動先(ニーズ)マッチング
- ・ボランティア活動者を活動先へ送迎
- ・活動資器材の搬送
- ・ボランティアグループ(現地での班編成) 代表者との連絡調整
- ・ボランティア活動への資材の貸出・返却
- ・輪島市災害たすけあいセンターの資材保管庫の整理



## 運営支援を行った派遣職員レポート

伊勢市災害ボランティアセンター長 中森 忠司  
(10月13日~15日)

### ◆ 運営支援する上で大切にしていたこと

被災された社会福祉協議会での災害ボランティアセンターの長期間の運営は、職員自身も被災されている方もみえる中で、通常の業務に加えて災害対応を行うことは、精神的な疲労も多く、その負担の軽減と災害ボランティア活動の円滑な運営を心がけていました。

### ◆ 特に印象に残っていること

令和6年の正月に発生した地震と9月に発生した豪雨で地震と水害の被害を受けた輪島市では、家の片付けなどまだまだ復興支援が必要だと思いました。

### ◆ 今後必要とされる支援について

被災された方々への義援金やボランティア活動等への支援金への協力や、被災地でボランティア活動に参加して頂くなどの支援を伊勢市災害ボランティアセンターで継続して行っていきます。

# ボランティアを始めた方へ ボランティア入門講座



ボランティアセンターでは、ボランティアを始めた方へのボランティア入門講座を開催しています。ボランティアを始めたけど、「何から始めたら良いかわからない」、「どんなボランティアがあるのか知りたい」などの思いをお持ちの方におすすめの講座です。

この講座で学ぶことを通して、ボランティア活動への最初の一步を踏み出してみませんか。あなたの一步が豊かな地域社会を実現することにつながります。

### 【ところ】

伊勢市社会福祉協議会福祉センター1階ふくしの学校 (伊勢市八日市場町13-1)

### 【日時】

毎月第4木曜日(※時間は、お問い合わせください。)

### 【内容】

- ① ボランティア活動ってなに?
- ② 市内で活動する団体等の活動紹介など

### 【対象】

市内在住、在勤、在学(大学生以上)の方でボランティア活動に興味がある方

### 【申込方法】

電話・FAX・右記の申込フォームのいずれか

### 【持ち物】

筆記用具

参加無料



申込フォーム

## 福祉体験学習 (in 城田中学校)

### 当事者の話



### 視覚障がい者および介助体験



福祉体験学習では、年齢、性別、国籍などの違いを超えて、誰もが使いやすいようにまちづくり、物づくり、環境づくりを行う考え方や、相手の立場に立って思いやりの気持ちを持って行動する考え方について学ぶユニバーサルデザインの授業を実施しています。

10月には、城田中学校の生徒が視覚障がい者の当事者による授業を受け、「視覚障がい者の現状」、「困っているときにしてほしい手助け」などの話を聞きました。生徒からは、「生活で一番大変なこと」、「世の中で変わってほしいこと」、「今まで特に嬉しかったこと」等の質問がたくさんありました。

福祉体験授業を通して、誰もが安心して暮らせるまちづくりについて考えてもらうきっかけになればと思います。